



2学期終業式

12月25日(月)、2学期の終業式が行われました。3つの学期の中で一番長い学期であり、たくさんの行事がある学期でもありました。校内合唱コンクール、人権学習、職場体験学習、修学旅行、校内駅伝大会など一つひとつの学校行事に生徒の皆さんが全力で取り組んだことで行事が成功し成果をあげることができ、個人個人の成長に繋がったと思います。また、部活動や文化面でも多くの生徒が活躍し、優秀な成績を修めることができました。「一生懸命がかっこいい」を大いに発揮することができた学期でした。

しかし、時間のけじめ、あいさつ、言葉遣い、相手やものを思いやる行動など学校生活における課題も残る学期でもありました。家庭や学校での行いや習慣は社会に出ても表れます。「学校と社会は繋がっている」という将来との関連性について、ぜひ考え、改善していけるように意識してほしいと思います。

式の中では、各学年と生徒会の代表4名があいさつを行い、2学期の振り返りと3学期に向けた決意をしっかりと述べていました。冬休みの間に令和6年を迎えます。「1年の計は元旦にあり」、生徒一人ひとりが令和5年(2学期)の良かったこと、やり残したことをしっかりと振り返り、新しい年(3学期)の目標をしっかりと立て、健康・安全面にも十分に気を付け、充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。

絵画の寄贈

12月25日、終業式前の時間を利用して、宮城鶴子さん(村仲宗根出身・現名護市在)から絵画2点(写真)の寄贈がありました。宮城鶴子さんは元小学校の教員で、これまでに多くの絵画や陶芸作品などを制作されており、11月には名護博物館ギャラリーにて作品展も開かれたようです。当日は、お二人の教え子の方と来校され、全校生徒の前でこれまでのご自身の歩みや今帰仁村の歴史にも触れながら絵画への思い入れを語っていただきました。全校生徒が絵画を見て、昔の今帰仁のことなど想像したり、豊かな心を育んでいく機会になればいいなと思います。

この2点の絵画については、学校の展示スペースに大切に展示します。

宮城鶴子さんありがとうございました。



「紫陽花」



「たばこ乾燥場」※村内あったそうです。